

2013年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事業報告書

<はじめに>

めまぐるしく変化する社会情勢のなかで神奈川県社会福祉士会は、2013年4月に県内における社会福祉の増進や県民の生活の向上に寄与することを目的とした「公益社団法人」に移行して事業内容の再構築及び組織改編等を行なっています。認定社会福祉士制度の創設にともない日本社会福祉士会の生涯研修制度の変更に対応するために基礎研修等の充実化を図りました。

災害援助に関しても、東日本大震災から1年後の2012年4月より、神奈川県から「避難者支援事業見守り隊」として災害支援事業を受託し、東北被災3県から避難して来られた世帯の訪問と、交流会（きずなサロン）等の行事を開催してきました。

そして、避難者それぞれのニーズ、求められる支援内容・方法の変化などを把握しながら、この1年間の活動の中で、より専門的な支援が必要な世帯が多く存在することがわかり、神奈川県より、2013年4月からは、「東日本大震災避難者専門サポート事業」（通称見守り隊）の支援事業を受託しました。また引き続き、各支部の協力も継続的に得ながら、交流会も開催しました。今後も支援の手を緩めず活動を続けていく予定です。

また、本会では2012年度に引き続き神奈川県から3つの事業 ①ホームレス等及び生活困窮者支援事業、②地域生活定着支援事業、③県内避難者支援事業を受託し事業展開を行いました。加えて2013年度は、生活保護社会的居場所づくりモデル事業を受託しました。さらに相模原市より、ホームレス等一時生活支援事業を受託し、すでに取り組んでいるシェルター「やどりぎ」同様のシェルター運営を開始しました。そのほか行政機関、団体等からの要請を受け本会から委員などの推薦を行いました。

2013年は、本会にとって地域、関係機関などから本会の活動に対する期待とそれに応えるべき本会の役割・責任の大きさを感じる1年であったとともに、事業の推進及び適切な人材の推薦をしていくには、福祉の専門的知識と技術が必要とされ、その任務の内容は社会福祉士としての責任をもってあたらなければ出来ないことをあらためて見直し、ますます私たちの社会的な期待と責任を痛感することとなりました。

本会の既存の活動としての事業は多岐にわたっており、この1年間重点事項の取り組みを中心に権利擁護、第三者評価、実習推進、など多くの実績を残してきました。また、研修の充実（基礎研修Ⅰ、Ⅱ開催及びⅢ実施にむけての準備）、組織率向上など工夫しながら進めてきました。

2014年度以降も公益社団法人を意識した活動を会員の皆さんと共に創り上げていきたいと考えています。

<重点事業への取り組みと成果>

1 公益社団法人への移行

組織として総務局で実情に合わせ規定類の見直しや、新しい部局体制等の整理等の議論を継続し、理事会に諮りました。

2 生涯研修制度の充実

日本社会福祉士会生涯研修制度の変更に伴い、本会生涯研修センターとしての機能の充実を図り基礎研修Ⅰ、Ⅱを開催しました。あわせて「認定社会福祉士」制度の周知・普及を行い、会員の研修について充実してきました。

3 虐待対応・自死問題を含めた権利擁護への取組みの増強

虐待対応研修、自殺防止への研修会をさらに充実させることによって多くの参加者を得ることができました。そして、成年後見のみならず人々の権利擁護を包括的に支援するための取組みを行ってきました。

4 東日本大震災復興支援の継続と危機管理体制の構築

県からの委託業務である「避難者見守り隊」の活動を行い、訪問や交流会の開催など行ってきました。また「専門的な支援が必要な世帯」をカンファレンスで抽出し次年度の支援につないできました。また、本会における危機管理体制について、規則、マニュアルを整備し、災害等に迅速に対応できる組織づくりの検討するとともに日本社会福祉士会関東ブロック内で協力・連携していくために調整を行っています。

<事業実績>

I 総務局

1. 公益法人化にともなう組織の運営整備

(1) 代議員総会の開催

① 第1回代議員総会の開催

2013年6月29日(土)15:00~16:57 神奈川県社会福祉会館4階 第3・4研修室

出席者数:50名(出席者39名+委任状による出席者11名)

議長:徳田千春氏(第二地区)、雨宮徹氏(第一地区)

議事録署名人:田代秀之氏(第三地区)、石井雅子氏(第二地区)

総会前講演会 13:15~14:45 「いま社会福祉士として生活困窮支援を考える~あらゆる

支援場面の生活困窮に向き合うために~」講師 菊池健志氏

<議案 報告・審議>以下について承認した。

<審議事項>

第1号議案 2012年度社団法人神奈川県社会福祉士会事業報告(案) 第2号議案 2012年度(社)神奈川県社会福祉士会第三次補正予算(案) 第3号議案 2012年度(社)神奈川県社会福祉士会予算(案)

第4号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会事業計画(案) 第5号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会役員及び代議員選出規則改正案

(2) 理事会の開催(理事会は理事総数16名・過半数出席にて会成立)

<第1回理事会>

平成25年4月21日(日)13:00~15:30 ウィリング横浜10階 介護実習室

15:50~17:30 臨時支部役員連絡会開催

出席:理事13 書面表決3 監事2 オブザーバー1 事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 山崎智美 佐藤雅美

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項:第1号議案 入退会審査 ・第2号議案 平成25年度厚木市ホームレス自立支援相談事業実施に伴う相談員の推薦 ・第3号議案 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の契約 ・第4号議案 ぱあとなあ名簿登録料等の日本社会福祉士会への事務委託 ・第5号議案 平成24年度各支部活動費精算報告

・第6号議案 神奈川県社会福祉協議会介護支援専門員審査員業務委託・第7号議案 神奈川県ホームレス自立支援計画策定委員推薦 ・第8号議案 社会福祉法人育明会レジデンシャル常盤台第三者委員推薦

・第9号議案 2013年度自殺対策事業の取り組み ・第10号議案 2013年度支部活動費支出

・第11号議案 2013年度福祉サービス第三者評価事業運営委員会新委員委嘱

協議事項

①公益社団法人移行後の理事の事業分担②継続協議:業務監督委員会構成・総務委員会構成 ③未成年後見についての研修会開催予定 ④現相談役の代議員当選に伴う変更⑤県央支部:座間市及び海老名市成年後見相談会開催に伴う活動費 ⑥臨時支部役員連絡会での議事内容・進行⑦社会福祉法人かながわ共同会 法人職員研修講師紹介依頼⑧第1回代議員総会(6月29日午後 神奈川県社会福祉会館第3・4研修室)開催

その他平成24年度事業報告書の提出と代議員総会までのスケジュール確認

報告事項

①公益社団法人移行後登記状況等 ②日本社会福祉士会研修(受講者推薦等)

・「災害支援コーディネーター養成研修」(3月23日・24日尾形理事出席)・養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する専門職チーム研修受講者・第4期虐待専門研修アドバイザーコース受講者推薦 ③委託事業生活困窮者支援事業24年度事業及び精算報告と職員体制④委託事業 定着生活支援センター24年度事業報告及び精算報告⑤委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託現況と職員体制⑥かながわ避難者支援会議準備会(神奈川県安全防災局設置)への参画⑦各委員会及び事業部から活動報告と今後の予定⑧20周年記念準備会の進捗状況⑨生涯研修スタッフ支部推薦一覧

報告事項2 ①平成24年度会計 3月分報告

<第2回理事会>

平成25年5月26日(日)9時30分~12時 ウィリング横浜6階 会議室1

出席:理事11、書面表決5 監事1、オブザーバー1、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 山崎智美 内藤美幸

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項:第1号議案 入退会審査 第2号議案 平成24年度社団法人神奈川県社会福祉士会事業報告(案) 第3号議案 平成24年度社団法人神奈川県社会福祉士会決算報告(案) 第4号議案 平成25年度公益社団法人神奈川県社会福祉士会事業計画(案) 第5号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会規則類(案)の制定 第6号議案 平成25年度公益社団法人神奈川県社会福祉士会代議員総会議案(案)

第7号議案 各支部幹事の委嘱 第8号議案本件は理事会までに日本社会福祉士会からの文書が未着であったため、審議事項からは削除 第9号議案 県立保健福祉大学実習指導者講習会開催名義後援

協議事項:①平成25年度理事役割分担 ②本会推薦の取り扱い③各委員会・事業部からの報告(2ヵ月ごと)の取り扱い ④各委員会・事業部の委嘱に伴う任期の確認

報告事項:①平成24年度社団法人神奈川県社会福祉士会監事監査結果②20周年記念事業 記念誌・祝賀会の進捗状況 ③代議員の辞退と予備代議員の繰り上げ

<下記は下記資料を確認し了承した>

④委託事業 生活困窮者支援事業現況⑤委託事業 定着生活支援センター事業現況⑥委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況⑦各委員会・事業部4月21日～5月26日までの活動報告

<第3回理事会>

平成25年6月19日(水)19:00～21:00 神奈川県社会福祉会館 2階 第2会議室

出席:理事10、第6号議案より出席理事9名

書面表決4、欠席2、第6号議案より欠席3

監事1、オブザーバー1、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 佐藤雅美 中西一郎

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項:第1号議案入退会審査 第2号議案・各支部・委員会報告(2ヵ月ごとの提出報告)

・委員会委員委嘱・ばあとなあ神奈川名簿登録者の承認 第3号議案生活困窮者支援事業の今後 第4号議案支部災害支援窓口担当者の委嘱 第5号議案 成年後見関係規則・自主活動支援規則案

報告事項:①平成24年度社団法人神奈川県社会福祉士会監事監査結果②日本社会福祉士会代議員総会(出席報告) ③関東甲信越ブロック大会(出席報告:山崎・吉田副会長) ④20周年記念事業 記念誌・祝賀会の進捗状況・20周年記念行事当日の理事分担 ⑤委託事業生活困窮者支援事業現況⑥委託事業 定着生活支援センター事業現況⑦委託事業東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況

⑧契約関係報告 県社協ケアマネ書類審査業務契約・第三者評価事業相模原市契約

その他本会からの後援・推薦等の動き

協議事項:①平成25年度代議員総会運営役割分担②自主活動助成費中止と今後の方針

<第4回理事会>

平成25年8月3日(土)9:30～12:30 神奈川県社会福祉会館 2階第2会議室

出席:理事12、書面評決2、欠席2、

監事2、オブザーバー2、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 瀬戸知樹 西山元弘

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案 入退会審査 第2号議案 法人後見12の個人受任への移行 第3号議案 相模原市委託事業(シェルター)の受託 第4号議案 神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業の受託

第5号議案 委員会委員委嘱

協議事項

①やどりぎ職員体制の変更(職員募集方法等) ②支部役員連絡会の開催時期と内容企画

③広報について(発行月日・原稿締切日の周知徹底、委員会提案事項等) ④本会パンフレット作成に

その他・相談事業部からの提案・スクールソーシャルワーク基礎講座開催への協力

報告事項

①代議員総会について(次年度に向けて、進行状況・形式等の振り返りと提案) ②社会福祉士会全国大会(岩手大会参加 正副会長から口頭報告) ③20周年記念事業(記念誌刊行祝賀会開催) ④委託事業 生活困窮者支援事業現況⑤委託事業 定着生活支援センター事業現況⑥委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業の現況

*現職員体制・支部協力⑦本会推薦・後援の動き⑧会計進捗状況と新ソフト導入⑨選挙管理委員会の予定 ⑩各委員会からの報告伝達事項等⑪その他・2013年度成年後見人養成研修受講者決定(本部通知)

<第5回理事会>

平成25年9月21日(土) 13時～15時 ウィリング横浜 12階 127

出席:理事13、書面評決2、監事1、事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人 菅野善也 尾形淳子

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

第1号議案 入退会審査 第2号議案 相模原市委託事業(シェルター)の受託

第3号議案 自主活動支援規則改正案について 第4号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会職員給与規則改正(案) 第5号議案 業務監督委員会委員委嘱について

協議事項

①日本社会福祉士会全国社会福祉士会会長会議検討事項 ②2014年度予算作成 ③会パンフレット作成

④2014年・2015年度役員改選

報告事項

①神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業

②委託事業 生活困窮者支援事業現況について③委託事業 定着生活支援センター事業現況

④委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況 ⑤会計8月分までの進捗状況

⑥各支部・各委員会事業部6月7月分の2ヵ月報告 ⑦8月・9月の本会推薦・後援状況

その他

①参考資料として、セーフティネット支援対策事業費等補助金の内示資料確認

<第6回理事会>

平成25年11月8日(金) 19時～21時 神奈川県社会福祉会館 2階 第2会議室

出席:理事10、書面表決5、欠席1、 監事1、オブザーバー1 事務局1

議長 山下 康 議事録署名人 山崎智美、内藤美幸

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

第1号議案 入退会審査 第2号議案 被疑者・被告人への福祉的支援に関する弁護士・社会福祉士の連携モデル推進事業に関する日本社会福祉士会との委託契約

第3号議案(公社)神奈川県社会福祉士会成年後見人候補者名簿登録に関する規則改正(案)

第4号議案 神奈川県保健福祉局 生活困窮者自立相談支援モデル事業への協力

協議事項

①虐待対応専門職チームの取り組み(担当者の確認含む) ②司法福祉ネットワーク委員会(仮称)の取り組み③相模原市生活困窮者支援事業受託(シェルター) ④2014年度事業計画・予算

報告事項

①支部役員連絡会(9月21日) ②会計説明会(10月6日・7日) ③神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業④委託事業 生活困窮者支援事業やどりぎ現況(職員異動含む) ⑤委託事業 定着生活支援センター事業現況⑥委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況⑦会計9月分までの進捗状況

⑧各支部・各委員会事業部8月9月分の2ヵ月報告⑨10月の本会推薦・後援状況

その他 第5回理事会議事録の確認

<第7回理事会>

平成25年12月8日(日) 10時～12時 ウィリング横浜 11階 111室

出席:理事10、書面表決2、欠席1、 監事2 事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人吉田勝利 内藤美幸

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

①選挙管理委員会からの報告(理事立候補推薦状況) ②司法福祉ネットワーク委員会の動き

③かながわ感動大賞エピソード検証業務委託事業精算報告④神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業⑤委託事業 生活困窮者支援事業やどりぎ現況

⑥委託事業 定着生活支援センター事業現況 ⑦委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況 ⑧相模原市受託事業(シェルター) 準備(アパート契約・職員採用等) 状況

⑨10月・11月の本会推薦・後援状況 ⑩第6回理事会議事録⑪都道府県ぱあとなあ担当者会議

審議事項

第1号議案 入退会審査 第2号議案 相模原市受託事業（シェルター）契約
第3号議案 2014年度事業計画本会方針・重点事業（案）第4号議案 職員就業規則改正（案）〔受託事業に伴う変更〕 第5号議案 成年後見人養成研修修了者名簿登録審査 第6号議案 2014年度組織再編成（ケアマネジメント・包括）第7号議案 新受託事業に関する補正予算案

協議事項

①2014年度委員会・支部の事業計画・予算と今後の査定予定○2014年度3月の総会の日程変更

<第8回理事会>

平成26年1月18日（土）10時～12時 神奈川県社会福祉会館 2階 第2会議室

出席：理事12、書面表決3、 監事1 オブザーバー1 事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人石橋正道 瀬戸知樹

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案 入退会審査 第2号議案 本会主催研修会実施日の事故等対応の為の保険加入

第3号議案 ばあとなあ神奈川後見人候補者名簿登録

第4号議案 ばあとなあ関係規則（基準）（案）

第5号議案 神奈川県社会福祉士会業務車両運転者服務規則・マイカー通勤規則（案）

協議事項

①2014年度事業計画及び予算査定結果 ②2014・2015年度理事役割分担の考え方

③神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業の次年度継続方向性

報告事項

①東京社会福祉士会会長声明文 ②司法福祉ネットワーク委員会現況

③神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業 ④委託事業 生活困窮者支援事業やどりが現況 ⑤委託事業 定着生活支援センター事業現況 ⑥委託事業 東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況 ⑦相模原市受託事業（シェルターはばたき）進捗状況

⑧会計11月分までの進捗状況 ⑨委員会・支部2ヵ月報告 ⑩12月の本会推薦・後援状況 ⑪第7回理事会議事録 ⑫賀詞交歓会出席状況

<第9回理事会>

平成26年2月13日（木）19時～21時 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

出席：理事11、書面表決2、欠席3 相談役1 監事1 オブザーバー1 事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人 小島操子 佐藤雅美

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案 入退会審査 第2号議案 本会主催研修会実施日の事故等対応の為の保険加入（1月理事会継続審議事項）第3号議案 ばあとなあ電話相談員の委嘱

第4号議案 ばあとなあ関係規則（基準）（案）（1月理事会継続審議事項）

第5号議案 ばあとなあ神奈川後見人候補者名簿登録移動状況

第6号議案 東日本大震災避難者専門サポート事業委託 第7号議案 相模原市生活困窮者支援事業（シェルターはばたき）受託 第8号議案 2014年度2015年度の新理事体制

報告事項

①司法福祉ネットワーク委員会現況②神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業

③委託事業 生活困窮者支援事業やどりが現況④委託事業 地域生活定着支援センター事業現況

⑤会計12月分までの進捗状況⑥委員会・支部2ヵ月報告⑦1月の本会推薦・後援状況

⑧第8回理事会議事録

<第10回理事会>

平成26年3月16日（日）14時～17時 ウィリング横浜 6階 会議室1

出席：理事11、書面表決1、欠席4 監事2 オブザーバー1 事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人 石橋正道 菅野善也

審議事項

第1号議案 入退会審査 第2号議案 平成26年度神奈川県社会福祉士会予算案

第3号議案 自主活動グループ後援 第4号議案 厚木市ホームレス自立支援相談事業巡回相談員推薦 第5号議案 規則案・(公社)神奈川県社会福祉士会正副会長会議運営規則(案)
・(公社)神奈川県社会福祉士会理事会運営規則改正(案)

第6号議案 平成26年度ぱあとなあ神奈川地区コーディネーターの委嘱協議事項

※26年度27年度理事自己紹介

①平成26年度理事役割分担②今後の担当引継ぎの方法③(公社)神奈川県社会福祉士会職員研修細則(案)

報告事項

①司法福祉ネットワーク委員会現況②神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業生活保護受給者を対象とした居場所づくり事業・生活保護受給者の居住の安定確保支援事業進捗状況

③委託事業生活困窮者支援事業やどりぎ現況④委託事業地域生活定着支援センター事業現況

⑤委託事業東日本大震災避難者専門サポート事業委託の現況⑥相模原市受託事業(シェルターはばたき)進捗状況⑦会計1月分までの進捗状況⑧委員会・支部2ヶ月報告

⑨2月の本会推薦・後援状況⑩第9回理事会議事録⑪日本社会福祉士会代議員総会(3月15日)

・(公社)神奈川県社会福祉士会会費規則の改正(案)

⑫第9回理事会第4号議案 ぱあとなあ関係規則(基準(訂正後の報告と確認))

⑬(公社)神奈川県社会福祉士会費用弁済規則(文字訂正等の確認)その他 2014年度理事会の日程調整

<臨時理事会>

平成25年8月14日(水)20時~21時 神奈川県社会福祉会館2階 第2会議室

出席:理事8、書面表決1、欠席7 監事2

オブザーバー1 事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人 山崎智美 佐藤雅美

審議事項

第1号議案 神奈川県委託事業生活保護社会的居場所づくりモデル事業受託(①生活保護受給者を対象とした居場所づくり事業②生活保護受給者の居住の安定確保支援事業)について

(1)県との打合せ・契約状況の報告(2)事業の進め方(3)その他

(3) 正副会長会議、監事監査、支部役員連絡協議会の開催

①正副会長会議

理事会討議事項及び重要案件について11回の会議を行った。

開催日:2013年4月 日 5月8日 6月14日 7月30日 9月5日 10月1日 11月5日
12月6日 2014年1月11日 2月1日 3月4日

②監事監査の開催

2012年度決算報告及び事業報告内容について監事による監査を実施した。

実施日:2013年5月23日

監事:齊藤学氏(事業担当) 江原伸弘氏(会計担当)

(4) 支部役員連絡会議(理事会及び役員研修会と同日に開催)

①第1回10月5日(水)14時30分~16時50分「ウィリング横浜」5階 502

出席者:会長、副会長、理事:各支部役員、事務局

<議題>県士会から支部への報告・連絡等

会計について・支部会計2ヵ月ごとの報告・会計マニュアル

2014年度予算作成 質問要望へのご説明

各支部活動の現状と課題 意見交換

生涯研修センターより次年度研修運営について

広報委員会より広報誌発行に関して

(5) 会員の加入状況 会員数 2,566名、組織率 21.63%(2014年3月末現在)

・神奈川の会員:実質91名の増(2013年度末2,475名、昨年度実績145名増)

・神奈川県登録者数累計:11,968名(2014年3月末)

・神奈川県合格者数累計:12,343名(第1回~第26回まで)

・全国合格者数累計:180,483名(第1回~第26回まで)

- ・全国登録者数累計:172,057名(2014年3月末)
- ・全国会員数:35,945名(2014年3月末の組織率21.69%)
- ・社団法人化後の会員加入の推移 ※加入数は退会等を差引いた数字を表す

データは主として日本社会福祉士会統計による

年次	加入(退会・転出)	会員現員数	組織率	全国平均
2001.3末	150(-5)	698	39.39%	(41.78%)
2002.3	161(-8)	859	38.23%	(39.91%)
2003.3	171(-22)	1030	36.54%	(37.18%)
2004.3	163(-33)	1193	34.20%	(34.19%)
2005.3	143(-32)	1336	31.04%	(31.35%)
2006.3	183(-30)	1519	29.71%	(29.65%)
2007.3	156(-54)	1675	28.26%	(28.51%)
2008.3	102(-75)	1777	26.22%	(26.85%)
2009.3	165(-95) ※転出29、退会66	1942	24.95%	(25.66%)
2010.3	115(-107) ※転出26、退会81	2057	23.45%	(24.23%)
2011.3	259(-114) ※転出29、退会85	2202	22.79%	(23.58%)
2012.3	266(-121) ※転出30、退会91	2347	22.32%	(23.05%)
2013.3	252(-124) ※転出26、退会98	2475	21.97%	(22.29%)
2014.3	177(-101) ※転出23、退会78	2566	21.63%	(21.69%)

(神奈川県合格者内訳)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
24	34	52	70	76	81	97	156	180
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
201	325	390	445	532	675	725	793	779
第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	
803	897	920	804	782	710	554	863	

支部別会員数(2014年3月末)

支部名	人数	%	支部名	人数	%
横浜	949	37%	県央	263	10%
川崎	342	13%	相模原	203	8%
横・三	248	10%	西湘	143	5%
湘南東	222	9%	総合計	2566	100%
湘南西	196	8%			

2. 関係団体との連携

(1) 日本社会福祉士会・市町村等の委員等の推薦と参加

【日本社会福祉士会 委員等関係】

常任理事：小堀和宏、理事：平田美智子、監事：本多洋実

代議員：高島さち子、山崎智美、菅野清、菅野善也、成田すみれ、吉田勝利、山下康、小島操子

委員会：国際委員会・平田美智子、綱紀委員会・中西一郎、成年後見委員会・齋藤憲磁、西原留美子

権利擁護事業委員会・中西晴之、地域包括支援ケア推進委員会・高山由美子、中澤伸、
「自殺予防」対策検討部会・小堀和宏、基礎課程整備委員会・山崎智美

【市町村・他団体委員等】（2013年度推薦分のみ）

小田原市地域包括支援センター運営協議会委員：鈴木等
綾瀬市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契約締結審査会委員：那須三郎
湯河原町介護保険事業計画等策定委員会及び湯河原町地域包括支援センター運営協議会委員：三井文子
川崎市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会苦情解決第三者委員：佐藤千秋
海老名市社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会委員：八角省一
川崎市社会福祉協議会福祉サービス第三者評価機関運営委員会委員：捧恵一
厚木市地域包括支援センター運営協議会委員：木暮恒夫
茅ヶ崎市社会福祉協議会契約締結審査会委員：岸谷一則
川崎市ホームレス自立支援推進市民協議会委員：山崎智美
平塚市障害者自立支援法市町村審査会委員：湯川智子
大磯町介護認定審査会委員：橘川やす子・諸橋利枝
よこはま自殺対策ネットワーク協議会：菅野善也
社会福祉法人たすけあいゆい オンブズマン：佐々美弥子・吉田迪矩”

(2) 他団体・社会福祉士養成校との連携

<他団体式典等>

主に正副会長、関係委員会委員長が下記式典等に出席
入学式・卒業式（神奈川県立保健福祉大学）
総会・記念式典（神奈川県医療社会事業協会、レジデンシャル常盤台設立3周年記念式典）
賀詞交歓会（神奈川県社会福祉協議会、神奈川県司法書士会、神奈川県看護協会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会）

3. 広報部

(1) 県民向け広報誌「社会福祉士会だより かながわの風」の発行

① 創刊号 2013. Summer（2013年7月発行）

巻頭言（山下康会長）～私達は福祉の専門職団体です～、社会福祉士会のあゆみ～あれから20年、公益社団法人神奈川県社会福祉士会とは？、あなたの街の社会福祉士（第1回西湘支部）、自己破産無料相談会、公開講座&研修会、プチ情報「海の日」と社会福祉士との関係、ちょっと耳より！知らなきゃ損！！な情報コーナー「通院や入院をあきらめないで！～高額療養費制度～」

② 第2号 2013. Autumn（2013年10月発行）

巻頭言（山下康会長）～気づいてください！体と心の限界サイン～、Q&A 成年後見制度って、どんな役に立つの？、高齢者やその家族の身近な相談窓口「地域包括支援センター」、病院（入院や通院）でお困りな患者や家族の方へ「医療ソーシャルワーカーにご相談ください」、あなたの街の社会福祉士（第2回川崎支部）、かながわ避難者見守り隊について、公開講座&研修会、ちょっと耳より！知らなきゃ損！！な情報コーナー「特養や老健などの介護保険施設、入所は費用が高いからできない？『居住費と食費の負担限度額制度』をご存知ですか？」

③ 第3号 2013. Spring（2014年1月発行）

巻頭言（吉田勝利副会長）～新年あけましておめでとうございます～、「子どもの最善の利益を求めて～乳児院では子どもの家庭復帰を支援します～」（百合ベビーホーム島田恭子施設長）、「皆さんは、第三者評価を知っていますか？」（神奈川県社会福祉士会第三者評価事業部小泉八重子運営委員会委員長）、あなたの街の社会福祉士（第3回横浜支部）、公開講座&研修会、ちょっと耳より！知らなきゃ損！！な情報コーナー「確定申告の時期！御存知ですか？介護サービス費も医療費控除できますよ！！」

(2) 会員向け情報誌「KACSW 通信」の発行

① KACSW 通信 2013. 5月号発行

情報発信！～広報全面改訂～、公益社団法人神奈川県社会福祉士会設立20周年記念式典～ソーシャルワ

一カーデー企画～、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《湘南東支部》《湘南西支部》《相模原支部》、公開学習会「児童虐待から子どもを守るために～未成年後見制度が果たす役割を考える～」、「成年後見」に関する勉強会～社会福祉士が成年後見の業務をする意味～、開催案内（たまひよくらぶ/第8期実践ソーシャルワーク塾/ソーシャルワーカーデー企画公益社団法人神奈川県社会福祉士会設立20周年記念式典/ファミリーサポート・ソーシャルワーク子ども家庭福祉研究会）、福祉サービス第三者評価事業について、社会的養護関係施設の第三者評価事業について：白百合ベビーホーム施設長島田恭子、研修カレンダー、相談事業（自殺対策）委員会より

② KACSW 通信 2013.7月号発行

平成25年度代議員総会、ぱあとなあ神奈川より公開講座のお知らせ、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《相模原支部》、開催案内（市民講座横須賀キリスト教社会館の地域福祉活動～市民のための地域福祉を考える～/2013年度社会福祉士共通基盤研修/「社会福祉士としての専門性とは何か？～社会福祉士の倫理綱領・行動規範から学ぶ～」/児童福祉緊急問題について～児童虐待・いじめの背景を問う～/自己破産手続きの支援/懇親会のお知らせ）、研修カレンダー

③ KACSW 通信 2013.9月号発行

防災の九月に想う、神奈川県社会福祉士会設立20周年公益社団法人移行記念式典、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《湘南東支部》《湘南西支部》《相模原支部》、開催案内（包括職員・ケアマネなど相談援助に必要な面接技術（初任者対象）/「成年後見活用講座」/たまひよくらぶ/宿泊交流会/2013年ゲートキーパー養成研修/2013年度社会福祉士共通基盤研修）、第三者評価事業部主催「児童虐待・いじめの背景を問う」研修会の報告、告示（公益社団法人神奈川県社会福祉士会第2期理事立候補受付）、研修カレンダー

④ KACSW 通信 2013.11月号発行

国際障害者権利条約批准へ、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《湘南東支部》《湘南西支部》《相模原支部》、更生保護～リーガルソーシャル（司法福祉）：相談事業部担当理事菅野善也、告示（公益社団法人神奈川県社会福祉士会第2期理事立候補受付）、開催案内（二宮町社会福祉大会開催/湘南い～すと『寒川町ふれあい福祉フェスティバル』/実践講座（自主活動グループサポーター・スーパービジョン研究会）/2013年度実践発表大会のお知らせ）、社会福祉士のギモン?!：「なんで老健（老人介護施設）は入所の基準が厳しいの？」研修カレンダー

⑤ KACSW 通信 2014.1月号発行

年の初めに、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《湘南東支部》《湘南西支部》《相模原支部》、「新」生涯研修制度をご存知ですか？、研修カレンダー、開催案内（湘南東支部公開講座：ライフイベントから考える後半の人生設計～エンディングノートで安心生活～）

⑥ KACSW 通信 2014.3月号発行

広報の役割、支部情報《横浜支部》《川崎支部》《西湘支部》《横須賀・三浦支部》《県央支部》《湘南西支部》《相模原支部》、湘南東支部主催市民講座：ライフイベントから考える後半の人生設計～エンディングノートで安心生活～報告：湘南東支部田中典子、県央支部主催「横浜刑務所の見学」に参加して報告：県央支部平岡多喜子、ゲートキーパー養成研修を終えて～平成25年度自殺対策事業報告：相談事業部自殺対策委員会担当理事菅野善也、開催案内（2014年度成年後見人養成研修（委託集合研修）/実践ソーシャルワーク塾第9期生募集開始）、生涯研修センターからのお知らせ、研修カレンダー、日本社会福祉士会動向～公益社団法人へ移行！！～

(3) ホームページの企画・運営

・会員専用ホームページを活用し、求人情報、研修案内等随時掲載を行った。月間平均アクセス数2万件

(4) 広報委員会の開催

・年間6回広報委員会を開催し、編集会議・情報交換を行った。（メールによる意見交換等含む）

(5) その他

・公益社団法人への移行後の広報活動のあり方を検討し、あらたに広く県民に向けた広報媒体創設のための協議を行った。

4. 組織率向上部

2006年度に設置された組織率向上委員会では、入会促進と退会防止による会員組織率を上げることが目標に各

種活動を行っている。各支部2名ずつ（横浜支部は3名）の委員で構成し、組織向上活動の周知や参加呼びかけを行った。また、研修委員会や資格取得委員会といった他の委員会とも連携協力して活動を行った。

(1) 入会促進の取組み

横浜・湘南東部・横三の3支部会員有志の合同バーベキュー大会を企画、支部活動への参加のきっかけ作りを行った。

(2) 初任者向けの取組み

- ・基礎研修 I における組織向上委員会の説明。
実績：前期 7/28（日）、後期 11/16（土）
- ・基礎研修 I の受講者及び会員を対象とした懇親会
実績：7/28 参加 33 名。テーブルを支部ごとに分け、名刺交換を行い、名刺を持ってない参加者には組織向上作成の名刺を提供。
実績：11/16 参加 26 名。
- ・初任者・非会員・資格未取得者の宿泊交流（ミステリーツアー） ～秋の野島でブラッシュアップ～
概ね3年以内の初任者や社会福祉士を目指す養成校学生と3年以上の社会福祉士が職場や普段の生活の場を離れ、同じ専門職種同士の交流を図るもの。
日時：11/2（土）～11/3（日） 1泊2日 場所：横浜市野島青少年研修センター
対象：概ね3年以内の新人（会員・非会員）及び社会福祉士養成校学生
実績：16名

(3) 組織向上委員会

- ・開催日数：年10回（小委員会含む）
- ・開催場所：横浜市西区社会福祉協議会・ウィリング横浜
- ・検討内容：支部組織向上委員会活動の情報交換、事業の進捗確認・検討、テーマ検討（魅力ある会づくり、入会促進・退会防止）、支部役員連絡会議、他委員会との連携 他

II. 公益・福祉局

1. 相談事業部

(1) 自殺対策への取組み

- ・神奈川県地域自殺対策緊急強化交付金事業助成金を受託し、自殺対策への取組みを県内他団体（弁護士会・医師会・看護協会・司法書士会・自死遺族の会など）と連携した取組みを行った。

① ゲートキーパー養成講座（初級・中級・上級）を開催した。

初級研修：2013年12月21日（土）9：00～16：40 神奈川県社会福祉会館ホール

（受講人数）124名

- （内容）
1. 自殺の現状と背景、対策・対応の理解 講師：桑原 寛氏（神奈川県精神保健福祉センター長）
 2. 自殺に傾く人への理解と援助 講師：山田素朋子氏（北里大学医学部 中毒・心身総合救急医学講座 精神保健福祉士）
 3. 自死で家族を亡くした立場から伝えたいこと 講師：南部節子氏（NPO 法人全国自死遺族総合支援センター事務局長）

中級研修：2014年1月19日（日） 9：00～16：30 Ts 横浜パシフィック

（受講人数）＊初級受講者より抽選75名（5名欠席）

- （内容）
1. 傾聴の基本的態度と技術～自殺に傾く人への援助～講師：佐々美弥子氏（本会会員）
 2. 希死念慮のある人への援助「応答訓練」 講師：稲富正治氏（臨床心理士）

上級研修

（実施日）：2014年2月9日（土）13：00～16：40 ウィリング横浜 501号室

（受講人数）75名

- （内容） 「希死念慮のある相談への対応力を高める」～応答トレーニング～
講師：佐々美弥子氏・稲富正治氏

修了証授与者 75名

- ②精神科医・弁護士・司法書士・精神保健福祉士・社会福祉士による包括相談会「こころの健康・法律・福祉無料相談会」を神奈川県と主催運営した。12月8日（日）相模原市にて 相談件数18件

(2) ホームレス及び生活困窮者自立支援相談事業

- ①厚木市より、ホームレス自立支援巡回相談員の依頼を受け本会から3名の巡回相談員を派遣した。
- ②年末年始（12月30日～1月4日）の相談窓口の設置
- ・「ホームレス等及び生活困窮者支援事業・シェルター@HOUSE やどりぎ」の近隣で路上生活を送っている方々に対して、年末年始も相談窓口が設置されている旨の案内を行い、日中、相談員2名体制で相談支援を行った。
- ③県民向け無料債務整理相談会と県民向け公開講座を開催した。
- 9月28日（日） 海老名市文化会館
- ・無料債務整理等相談会（午前の部） 田口幸子弁護士 相談者2名
 - ・県民向け公開講座（午後の部）「法テラスの利用のしかたと自己破産手続きの支援」
法テラス 星野務氏 馬場英興氏 小林宏光氏 参加者87名
- ④生活困窮者支援に向けた専門職フォローアップ研修を実施した。
- ・「年金制度について勉強会」 講師：籠谷勝樹氏（元年金事務所職員）
7月2日（火）19:00～21:00 海老名市社会福祉会館 参加者17名
 - ・「住宅支援給付事業の勉強会」 講師：河津洋明氏（元ハローワーク職員）
1月28日（火）19:00～21:00 海老名市社会福祉会館 参加者12名
- ⑤神奈川県受託事業「生活保護社会的居場所づくりモデル事業」へのボランティアの参加を行った。
(2/12、1名参加)
- ⑥相模原市受託事業「ホームレス等一時生活事業・シェルターはばたき」の巡回相談に参加し、ネットカフェやマンガ喫茶等への巡回相談を行った。(3/19、5名参加)
- ⑦神奈川県より委託されている「ホームレス等及び生活困窮者支援事業・シェルターやどりぎ」同じく「生活保護受給者の社会的居場所づくり事業」、相模原市より委託されている「生活困窮者自立支援事業・シェルターはばたき」の総合相談支援を側面から支援する為に生活困窮者支援ネットワーク委員会にて、連携内容などの検討会を行った。(月1回開催)
- ・日程 4/23 5/30 7/2 8/8 9/12 10/25 11/26 1/28 2/28 3/27
 - ・検討委員会メンバー
やどりぎ職員3名 社会的居場所づくり事業職員2名 はばたき職員2名、本多洋実、小埜和宏、大林由美子、瀬戸知樹、一色茂雄、西川久江 会長山下康、副会長小島操子、事務局菅野

2. 地域包括支援センター推進事業部

(1) 全体会議の開催

委員会運営の統括、各事業の進捗状況の把握を行うために全体会議を開催した。

計3回開催：6月12日（水）、8月14日（水）、10月5日（土）

(2) 地域包括支援センター初任者研修の開催

地域包括支援センターに従事している初任者向けに、面接技術の向上を主題に講義・演習を含めて研修を開催した。

2日コースで実施：11月9日（土）・30日（土）*1日目は10月26日開催予定だったが台風予報で延期

会場：1日目 県民センター・2日目 ウィリング横浜

(3) 高齢者虐待対応現任者標準研修の開催

虐待防止法にもとづく虐待対応機関・協力機関等の現任者が、虐待対応にあたる上での専門的視点・技術を習得し、実践力の向上を図るために、講義・演習を通じて学ぶことを目的に開催した。

*本会権利擁護事業ばあとなあ神奈川及びケアマネジメント委員会と共同開催

*相模原市・横浜弁護士会共催

相模原市担当者との打ち合わせ：12月3日（火） 講師打ち合わせ会：12月22日（日）

3日コースで実施：1月25日（土）・2月1日（土）・2月8日（土）

会場：相模原市 けやき会館

内容：・虐待防止法の内容と法に定められている市町村の責務

- ・虐待対応における権利擁護の視点
- ・虐待対応の基本的な流れ、虐待対応ソーシャルワークモデルの視点
- ・通報受理、事実確認や緊急性の判断等初動期段階の対応
- ・対応段階における虐待の背景・要因のアセスメントと支援計画を策定するポイント
- ・虐待対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について

(4) 虐待対応専門職チーム立ち上げに向けた話し合い

高齢者虐待対応専門職チーム立ち上げに向け、本会としての今後の方向性の検討を行った。6月29日（土）

(5) 日本社会福祉士会主催 地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修への協力

地域包括支援センターに従事する職員を中心に開催された、ネットワーク構築にむけた実践力を高めるための研修で演習のファシリテーターとして委員を派遣した。

研修実施日 9月7日（土）～8日（日）前期・3月1日（土）～2日（日）後期

(6) 神奈川県介護支援専門員協会地域連携事業への協力

地域連携委員会 地域包括部会への参加

全6回：6月24日（月）、10月16日（水）、11月27日（水）、12月19日（木）、2月3日（月）、3月24日（月）

地域包括連携会議への参加 第1回：10月30日（水）第2回：2月27日（木）

3. ケアマネジメント事業部

(1) ケアマネジメント委員会の開催

介護保険対策事業を実施するにあたり、ケアマネジメント委員会を開催し、事業の進捗状況等を確認した。

計2回開催 5/20 9/10

(2) 研修の実施

①9月30日（月）障害者総合支援法関連研修：今、障害者総合支援法はどうなっているのか～相談支援事業に焦点をあてて～（場所：湘南C-Xオザワビル）

講師：社会福祉法人藤沢育成会 湘南セシリア施設長 河原雄一氏、参加者：57名

②1月28日（火）高齢者福祉研修：高齢者のこれからの施設利用方法について（場所：海老名市文化会館）

講師：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 専務理事 瀬戸恒彦氏、参加者：45名

4. 第三者評価事業部

(1) 福祉サービス第三者評価事業運営委員会の開催

・本会が福祉サービス第三者評価事業を実施するにあたり、運営委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。

運営委員長：小泉八重子 運営副委員長：高島さち子 運営委員：大埜嵩、酒井正樹、小倉牧男、勝俣恵子、杉山幸雄

計6回開催 4/18 6/20 8/22 10/9 12/19 2/20

(2) 受審希望事業所への対応

・今年度も、神奈川県社会福祉協議会が開発した手法を引き継ぎ、第三者評価事業の普及と実施に努めた。推進機構の説明会を通して市町村や受審希望事業所を訪問する機会を得て、運営委員が以下の評価項目・手法等を説明した。

1. 社会福祉士会方式 障害・高齢<グレード1> ガイドライン準拠版

2. 神奈川県社会福祉協議会方式 障害・高齢<グレード2>

3. 神奈川県社会福祉協議会方式 保育版

4. 神奈川県社会福祉協議会・推進機構方式 障害グループホーム・ケアホーム

(3) 社会的養護施設への対応

・2012年度より社会的養護施設の福祉サービス第三者評価が義務化されたことに伴い、本会も研修を受講し、新たに全国共通の機関として全社協の認証を得て（社会的養護関係施設 評価機関 認証第2501-002-01号 平成25年1月取得）今年度は1施設の調査を行なった。

(4) 第三者評価の実施及び公表

- ・神奈川県社会福祉協議会が開発した評価項目・手法・全国社会福祉協議会の項目を用いて、評価を行った。

① 第三者評価の実施（17事業所の実施）※内1事業所は社会的養護施設

- ・下記について実施した。

<受審事業所>	<使用評価項目・手法>	<訪問調査日>
すぎな会デイ施設つくし（厚木市）	国会・障害グレード1	10月30日
グループホーム柿生 かきお・かりん（川崎市）	県社協方式グループホーム	10月31日
すぎな会生活ホーム10ヶ所（厚木市）	県社協方式グループホーム	11月6日7日12月10日11日12日
相模原市大沼保育園（相模原市）	県社協方式保育	11月13日
相模原市麻溝台保育園（相模原市）	県社協方式保育	11月20日
明星会竹の子学園（小田原市）	国会・障害グレード1	H26年1月16日
真生会百合ベビーホーム（横浜市）	全国社会福祉協議会	H26年1月23日・24日

② 評価決定委員会の開催

- ・上記事業所調査について、評価決定委員会を開催し、評価結果は「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構（以下、推進機構）」及び国会ホームページにて公表した。また社会的養護施設に関しては全国社会福祉協議会及び国会ホームページにて公表した。

評価決定委員会委員長 久田則夫氏（日本女子大学教授）

副委員長草光純二氏 委員：古川年明氏 西原留美子氏 捧恵一氏

○第1回評価決定委員会 2013年5月20日（月）神奈川県社会福祉会館ミーティングルーム

○第2回評価決定委員会 2014年1月27日（月）神奈川県社会福祉会館2階 第1会議室

○第3回評価決定委員会 2014年3月10日（月）神奈川県民サポートセンターミーティングルーム

(5) 研修等の実施

- ・国会登録の調査員や会員等を対象にして、以下の研修会を開催した。

「第三者評価調査員研修会」 11月16日（土）県社会福祉会館ミーティングルーム 参加者12名

① 〈障害・高齢グレード1〉の評価項目・手法の理解と訪問調査での心構え

（国会第三者評価事業運営委員 調査員リーダー 大埜 嵩氏）

② 〈保育分野〉の評価項目・手法の理解と訪問調査での心構え

（国会第三者評価事業 調査員リーダー 梅田滋氏）

(6) 関係機関との連携、その他

- ・推進機構主催の「評価機関連絡会」に、運営委員及び事務局が参加した。
- ・推進機構主催の「事業者説明会」（横浜市、藤沢市、相模原市）に、運営委員・事務局が参加し、国会第三者評価事業の説明を行った。
- ・神奈川県より受託の「かながわ感動介護大賞感動介護エピソード検証業務」ヒアリング業務を運営委員を中心に担当し事業に協力した。

5. 社会福祉士国家試験受験対策事業部

対策講座や、大学での対策講座を行うとともに、全国統一模擬試験を実施し、資格取得を支援した。また、講座の質の向上を図るため、講座実施毎に講座内容に関するアンケート調査を行った。

(1) 社会福祉士国家試験受験対策講座

・日程：全6日間（9/21（土）、9/29（日）、10/5（土）、10/6（日）、10/13（日））

・場所：ウィリング横浜・受講者数104名

※講座開講予定の9月16日が台風のため講座実施中止となり9月21日からの開講となった。

(2) 社会福祉士国家試験模擬試験

・日程：10月26日（土）10:00～15:35・場所：ウィリング横浜・受験申込者数155名

(3) 大学の国家試験対策講座への講師派遣

東海大学 明治学院大学の2大学に講師派遣を行った。

受講者数・講座開講日数（模試含む）・講師派遣延べ人数

大学名	科目数	受講者数	日数	講師派遣延べ人数
東海大学	19	18	5	19
明治学院大学	19	100	7	19

(4) 講師会の開催

講師会を1回開催した。

6月16日(土) ウィリング横浜 9階 和室

対策講座受講者の合格率向上に向けてのテキスト作成・講座の持ち方について検討した。

(5) 社会福祉士国家試験 直前対策講座

日程:1月12日(日)1講義60分 4教科(苦手とされる科目を中心に)とガイダンス

場所:ウィリング横浜5階 501 502 受講者45名

(6) 合格者把握対策

合格発表時に氏名が公表されないことから、本会が開催した受験対策講座の受講生・模擬試験受験者・直前講座受講生等に受験番号をあらかじめ本会に通知していただき、合格把握後に入会の案内送付を行った。番号通知を依頼した155名のうち61名から回答があり、45名の合格を確認した。

6. 社会福祉士実習推進事業部

<概況>

2008年度に立ち上げた委員会は、高齢者・障害者・児童・生活保護・社協・医療などの各分野の委員と社会福祉士養成校協会と行政のオブザーバーにより構成され、県内の社会福祉士の実習の推進や実習指導者の養成の課題について情報交換、検討しながら、ネットワーク作りを進めている。

実習指導者講習会については、日本社会福祉士会ガイドラインに沿って実施した(定員80名)。

また、実習指導者講習会を修了した社会福祉士が、講習会で学んだ内容を現場で活用できる「実践力」を身につけるとともに、実習指導者相互の情報交換やネットワーク作りの場を提供するため、2009(平成21)年度から開催している、フォローアップ研修を実施した。

(1) 実習指導者講習会の広報

- ・会員向けニュース・HPで実習指導者講習会開催要項配布(7月)
- ・県内社会福祉士養成校へ開催要項配布(7月)
- ・横浜市社協障害・高齢・児童福祉部会で配布(7月)
- ・川崎市高齢、児童・乳児・母子福祉部会で配布(7月)
- ・県社協福祉タイムズに記事掲載(8月)
- ・地域の施設に講習会への職員派遣依頼(6月)
- ・フォローアップ研修について講習会修了者宛通知(6月)
- ・会員向けニュース、HPで案内記事(7月)

(2) フォローアップ研修

日程:10月19日(土) 参加者数:41名

対象:実習指導者講習会を修了した社会福祉士、実習施設職員、養成校教員

内容:テーマ①ソーシャルワークを伝える実習プログラムとは

テーマ②養成校における実習教育の実際～連携協働をめざして～

実践報告者:(社)日本社会福祉士養成校協会 関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行氏(東海大学准教授)、小平隆雄(田園調布学園大学講師)

(3) 実習指導者講習会の開催

・日程:12月21日(土)～22日(日) 修了者数:105名(定員80名、申込者120名、受講決定者110名)

・対象:講習会ガイドラインに準じて、現に実習指導をしている人、指導予定で資格録古い順の方

・内容及び講師 実習指導概論講義:菊池健志氏 実習マネジメント論講義:佐川博之氏 実習プログラミング論講義:石渕真理氏 実習スーパービジョン論講義・演習:成田すみれ氏、逢澤詳子氏

(4) 推進委員会活動等

①推進委員会の開催状況(委員長 西原留美子・副委員長尾形淳子)

・開催数:年2回(6/10・11/18)

・主な内容

第1回 ・公益社団法人化に伴う委員の委嘱期間説明・2012年度事業報告(実習指導者講習会、フォローアップ研修報告等)・2013年度事業計画(実習指導者講習会の開催と広報活動・フォローアップ研修の実施について等)

第2回 ・2013年度事業の進捗状況・2014年度事業計画案等

②打ち合わせ：開催数：年6回

(5) 日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック

・社会福祉士実習教育推進大会に参加：副委員長尾形淳子（12/7）

7. 神奈川県地域生活定着支援センター事業部（神奈川県 受託事業）

(1) 運営連絡会議の開催、関係各機関との連絡調整

横浜保護観察所、横浜刑務所、神奈川医療少年院、神奈川県、横浜市等と事業計画の審議や、実施状況の確認、事例検討等の会議を年6回開催したほか、関係機関等との連絡調整を図った。

(2) 対象者支援業務

矯正施設における対象者との面接及び出迎え、連絡調整を行った。コーディネート業務については、本年度の特別調整の開始件数は39人（前年度からの継続13人を含む）、終了件数は22人、支援継続中は17人、一般調整の開始件数は3人（前年度からの継続2人を含む）、終了件数は2人、支援継続中は1人であった。フォローアップ業務については、本年度の開始件数は39人（前年度からの継続20人を含む）、終了件数は27人、支援継続中は12人であった。相談支援業務については、開始件数は40人（前年度からの継続5人を含む）、終了件数は44人、支援継続中は1人であった。

(3) 啓発活動・研修受講等

市町村、関係機関等における講演、説明会の開催を行う一方、事例検討会や地域生活定着促進事業に関わる内容の研修に参加した。

(4) 会議等への参加等、その他業務

全国地域生活定着支援センター協議会主催の各種会議・研修会や、関東甲信越ブロックの研修会、他都道府県のシンポジウムなどに積極的に参加した。

8. 定着支援センターネットワーク委員会

(1) 日本社会福祉士会委託事業

日本福祉士会が、平成25年度セーフティネット支援対策等事業費補助金を受け社会福祉推進事業「被疑者・被告人への福祉的支援に関する弁護士・社会福祉士の連携モデル推進事業」を行うにあたり大都市圏域におけるネットワークのあり方を大阪、神奈川の両福祉士会、弁護士会と連携をし研究を行った。

検討会議 〈2013年〉10/24、11/28、12/26 〈2014年〉1/22、2/27

(2) 横浜弁護士会との連携事業

2013年度より、横浜弁護士会において被疑者、被告に対する支援として、知的障害者に対する支援として、福祉士と連携をしながら接見や具体的な裁判に対する支援を開始するにあたって、社会福祉士会との連携チームを作るにあたっての具体的な検討会が実施された。年度後半より数名の本会メンバーと担当弁護士と具体的な支援を行った。

ネットワーク委員会開催 : 10月より隔月開催

ネットワークメンバー : 本会会員及び非会員を含め26名（3月末現在）

(3) その他

本事業に関し、2013年12月8日NHK「首都圏ネットワーク」にて特集として放映された。

9. ホームレス（生活困窮者）自立支援推進等相談事業部（神奈川県 受託事業）

(1) ホームレス等及び生活困窮者支援事業の実施を行った。

神奈川県より委託の「ホームレス等及び生活困窮者支援事業・シェルター@HOUSE やどりぎ」の運営を、周辺市町村との連携により実施した。

①事業の実施体制(場所と設備)について

名称：シェルター@HOUSE やどりぎ

所在地：神奈川県厚木市 建物：軽量鉄骨造・2階建・各階4戸・合計8戸

内訳：事務室1部屋、食堂、談話室1部屋、居室6部屋

居室設備：1K（6畳洋室、押し入れ、キッチン、浴室、トイレ付）

事務室：机3台、相談用テーブル1台、パソコン、プリンターなど

食堂・談話室（共有スペース）…TV1台、電磁調理器、食事用テーブル、椅子、洗濯機など

②生活困窮者支援 相談窓口の利用状況について

・相談件数：延べ401件（うち新規相談件数80人）

・新規相談者：107人

・シェルター利用者数：延べ80人（うち実利用者数24人）

・新規実利用者数：24人（退所者数：22人）

・問い合わせ：近隣の市町村生活保護ケースワーカー、母子DV関係の担当者、医療機関、当事者等

③「シェルター@HOUSE やどりぎ」利用者に対して、自立に向けての支援を行った。

・看護師による健康相談支援：延べ12回

・就労準備としてハローワーク利用方法などの支援：延べ13回

・防犯・借金などの生活相談支援：延べ4回

・入所者家族の児童への学習支援：延べ1回

(2) 生活保護社会的居場所づくり・居住安定事業（神奈川県 受託事業 2013.10～2014.3）

2013年10月より神奈川県から「生活保護社会的居場所づくりモデル事業」の受託を受け、県内2箇所の地域（小田原保健福祉事務所・厚木保健福祉事務所）において支援を希望した方々へ、2つの事業（社会的居場所づくり事業・居住の安定確保事業）を実施し、地域社会から孤立しがちな生活保護受給者が社会とのつながりを結び直し、社会での生きがいづくりにつなげていく為に次の内容を実施した。

①生活保護受給者を対象とした社会的居場所づくり事業の実施

・日常生活における生活相談や、社会経験・社会的交流等の機会を行い、社会的自立・日常生活自立の支援を実施した。

（日常生活上の相談、日常生活支援、社会貢献活動の機会の確保、健康予防に関する支援、居場所づくり（料理教室などのサロン活動）

②生活保護受給者の居住の安定確保支援事業の実施

・安定した生活をする為の居住環境を整え、公営・民間住宅入居のための手続きや調整に関する支援、家賃や公共料金等の滞納や支払いの管理等、居住の安定の為の支援を実施した。

（公営・民間住宅入居に関する支援、代理納付等に関する支援、居住の安定のための支援）

③マニュアルの作成と納品

・上記の受託事業の取り組みを基に、事業の進行に必要とされる運営体制や関係機関との連携方法や留意点と、この実践から得た支援の効果等をマニュアルとして作成し平成26年2月末日に納品した。（部数 400部）

(3) ホームレス等一時生活事業（相模原市受託事業）

2013年11月より相模原市から受託の「ホームレス等一時生活事業・シェルター@HOUSE はばたき」を開設し運営を行った。

この事業は生活困窮者自立支援法のモデル事業として、社会から逃避したり失業等で居所を失うなど様々な状況を抱え緊急一時的な居場所が必要な者に対して、一時的な宿泊場所を提供しながら個々の生活実態等に応じて、課題解消に向け、生活・健康面への援助や就労支援を行うとともに、安定した居宅生活の確保に向けた支援等を行い、自立を推進することを目的としている。対象者は市内のホームレス等の一定の住居を持たない

生活困窮者であり、原則3ヶ月の間にそこで就労などを目指していく。

①事業の実施体制(場所と設備)について

名称：@HOUSE はばたき 所在地：相模原市内

内訳：相談室1部屋、居室4部屋、食堂談話室1部屋

居室設備：1K(6畳洋室、ロフト、キッチン、浴室、トイレ付)

事務室：机2台、相談用テーブル1台、パソコン、プリンターなど

食堂・談話室(共有スペース)…TV1台、電磁調理器、食食用テーブル、椅子、洗濯機など

居室…ミニ冷蔵庫・湯沸かしポット・電子レンジ・食料品や日用品の現物支給など

②生活困窮者支援 相談窓口の利用状況と入所者について

・相談件数：5件

・入所者数：4人

・退所者数：1人

③入所利用者に対して、自立に向けての支援を行った。

・健康管理(毎日のバイタルチェック)、健康診断同行、就労支援(履歴書作成とハローワーク同行)、年金相談、栄養指導、防犯・借金などの生活相談支援、各種手続き書類作成支援、居宅移行相談など

④定期的に、インターネットカフェやマンガ喫茶等への巡回相談も実施した。

10. 県内避難者支援事業部(見守り隊)(神奈川県 受託事業 2013.4~2014.3)

2013年4月より、神奈川県より、「東日本大震災避難者専門サポート事業」を受託した。昨年度受託事業の「県内避難者支援事業(かながわ避難者見守り隊)」において、県内避難者(約1100世帯)の中で選定された、自立に向け、特段の配慮を要する高齢者・障害者の避難者等(約300世帯)に対し、社会福祉士や精神保健福祉士・医師・保健師・ファイナンシャルプランナー等の専門職種によるサポートを行なった。それにより、避難先での早期自立を図り、または、故郷への帰還につながる支援への取り組みを行った。

11. 成年後見・権利擁護事業部

2013年度は、昨年度から実施した総務・法人後見、相談、研修、養成、地区の5部門体制が定着し、ばあとなあ神奈川の運営がそれぞれの部門ごとに方針を立て計画的に推進された。(以下に内容掲載)

さらに、ばあとなあ神奈川事業部員による後見活動の質の確保に向け、『後見人等候補者名簿登録更新基準』の導入を検討し、①適切な後見活動の実施および定期報告書の提出(2014年度より実施)②会費および手数料の納付(2014年度より実施)③地区ばあとなあへの参加(2015年度より実施)④研修の一定単位の受講(2015年度より実施)を登録要件として義務化することを決定した。また、『個人受任による活動の適正化』のために、本会は個々の部員が後見活動を公平かつ適正に行うことができる範囲を考慮して後見人等候補者推薦を行うこと、各部員は、自らの受任について成年後見活動が不適切なものにならないよう、社会福祉士としての社会的責任を自覚し、自分自身の責任の持てる被後見人等の数を十分に考慮したうえで受任しなければならないこと、自分自身の年齢、職業及び成年後見活動に専念できる時間等を勘案し、受任できる上限数を届け出ること、さらに、受任の上限を原則として20人とすることを明確にした。

外部機関団体からの要請に応じて、行政職員や親族等対象研修、市民後見人養成研修への講師派遣等を行い、権利擁護や身上監護を重視するソーシャルワーカーとして参加した。

(1)相談及び法人後見

①権利擁護に関する電話相談事業

成年後見相談は、ばあとなあ神奈川の設置当初から開始された事業である。昨年度(2012年)からは、広く県民を対象としたこの事業の一層の充実を図る目的から、担当副委員長を配置して相談部門として体制を整備したところである。2013年度は、成年後見制度のみならずその背景にある福祉課題、生活課題に焦点を当てた相談活動、一般県民のほか県内の福祉関係機関等からの二次相談に対する専門的な相談活動が求められ、相談員の一層の質の向上に努めた。受任依頼を含む任意後見相談などに対応し、ばあとなあとしての体制整備のため任意後見検討会を設置や、相談員研修に一日のプログラムを新たに設けるなどの取り組みを行った。

【成年後見相談員の活動】

今年度の成年後見相談員登録者は30名で、①2年以上の受任経験があること、②ばあとなあ神奈川相談部門が実施する成年後見相談員研修を受講していること、または2012年までの電話相談員研修受講者、申立相談員であることを要件に、相談活動が可能な会員について登録者の募集を行った。そのうち電話相談員として活動した会員は12名で平均9.8回の相談活動を行った。またその他の相談員は電話相談からの要請により訪問等による個別相談、また市町村等他団体から相談員派遣要請に対応する活動を行った。

【相談部門会議】

2013年12月27日、2014年1月18日の2回実施

【成年後見相談員連絡会】

2013年10月1日 13時半から 県社会福祉会館 14名参加

- ・今年度の成年後見相談の実施状況および事例報告について
- ・25年度成年後見相談員養成研修内容の検討
- ・成年後見相談員登録の考え方の整理、業務の範囲について
- ・土曜日の相談の廃止についての検討

【任意後見検討会】

2013年8月9日 神奈川版任意後見ガイドラインの検討

2013年9月30日 同上

【2013年度ばあとなあ成年後見相談員養成研修】

内容

①1日目 2014年2月22日(土) 10:00~17:00

- ・場所：ウィリング横浜 研修室 参加者：16名
- ・内容(講師)

- 科目1 ばあとなあ神奈川の成年後見相談の流れ(社会福祉士 田中晃氏)
- 科目2 相談の技術と視点、成年後見制度に関連する社会資源の知識(同 田中晃氏)
- 科目3 法定後見申立相談の留意点、申立ての実務(社会福祉士 大埜嵩氏)
- 科目4 後見(保佐・補助)の申立書等作成演習(社会福祉士 那須三朗氏)

②2日目 2014年3月23日(土) 10:00~17:00

- ・場所：神奈川県社会福祉会館4階 第1・2研修室 参加者：16名
- ・内容(講師)

- 科目1 任意後見制度の意義と位置づけ
(成年後見センター・リーガルサポート神奈川 司法書士 橋本健司氏)
- 科目2 任意後見契約の内容例 (社会福祉士 田村左千男氏)
- 科目3 任意後見の費用 (社会福祉士 梅川正信氏)
- 科目4 任意後見契約に関する留意事項 (社会福祉士 大埜嵩氏)
- 科目5 契約締結までの任意後見ガイドライン (社会福祉士 小野田潤氏)
- 科目6 ばあとなあ神奈川任意後見ガイドラインの検討 (社会福祉士 田中晃氏)

受講対象：

- ① ばあとなあ神奈川名簿登録者として2年以上の受任経験を有する方
- ② 福祉の相談援助職として3年以上の経験のある方
- ③ 受講後、成年後見相談員としての登録が可能な方

【電話相談等】(別表を参照のこと) ※()内は昨年度の数

今年度の相談の延べ件数は合計212件(259件)で、新規相談は169件(205件)、継続相談は43件(54件)となっている。電話相談195件、来所相談14件、出張相談3件である。

相談者は、親族等(本人・親族・知人)が56.1%で119件(52.1%135件)、関係機関(行政・包括支援センター等)が34.4%で73件(36.3%94件)、ばあとなあ部員4.2%で9件(8.5%22件)、その他・不明など11件と、親族以外の行政や包括、その他の多様な機関が半数を占めている。本人からの相談も20件と比較的多く任意後見相談などが主な内容であった。

対象者別では、認知症高齢者が最も多く24.1%だが、判断能力の低下のない高齢者からの相談も15%(32件)となっている。また精神障害も21.1%、知的障害17.5%

精神については、親族からの相談が7割である。特にご本人の障害を話さない相談者も多く不明は15%

ある。

相談の主訴では、候補者紹介が最も多く、次いで制度の概要、費用・報酬に関することである。任意後見については12.7%である。成年後見利用の課題整理を含めた、制度全般にわたる相談内容となっている。

相談員には成年後見制度、高齢者や幅の広い知識と相談スキルの向上が求められるとともに、電話相談を窓口として、候補者紹介、来所相談、出張などによる継続的な相談(有料)への展開するための、相談体制づくりが必要である。

ばあとなあ神奈川 電話相談件数(月別集計25年4月から26年3月末)														
平成25年度	親族等			関係機関等							ばあとなあ 部員	その他 不明等	合計	
相談月	本人	親族	知人	行政	包括・ ケアマネ	障害 相談支援	社協	病院	高齢 施設	障害 施設				
4月	4	8		3	3	1		1				2	2	24
5月	2	6		5	2			1		1			2	19
6月	1	7		1	2			5		1				17
7月		10	1	1				1				1		14
8月		6		2	2	3			1					14
9月	3	9								2		1	1	16
10月		9	2	3	2			2		1				19
11月	4	7		1	5							1	1	19
12月	1	4		1						2		1	1	10
1月	3	4		1	2			1				2		13
2月	2	13	1	4	2			2				1	1	26
3月		12		1	3			1	1				3	21
合計	20	95	4	23	23	4	0	14	2	7		9	11	212
		119				73								

ばあとなあ神奈川 電話相談件数(月別集計25年4月から26年3月末)														
ご本人の障害	親族等			関係機関等							ばあとなあ 部員	その他 不明等	合計	
	本人	親族	知人	行政	包括・ ケアマネ	障害 相談支援	社協	病院	高齢 施設	障害 施設				
認知症高齢者	1	26	1	6	9			3	1			1	3	51
知的障害者		19		3	1	3				7		3	1	37
精神障害者	2	33	1	3	1	1		3				2		46
高次脳機能障害														0
高齢者	15	7	1	1	5			1	1			1		32
その他	1	6		1	1			3				1	1	14
不明	1	4	1	9	6			4				1	6	32
合計	20	95	4	23	23	4	0	14	2	7		9	11	212

ばあとなあ神奈川 電話相談件数(月別集計25年4月から26年3月末)														
相談の主訴	親族等			関係機関等							ばあとなあ 部員	その他 不明等	合計	
	本人	親族	知人	行政	包括・ ケアマネ	障害 相談支援	社協	病院	高齢 施設	障害 施設				
制度概要	1	23	1	3	2	1		1	1	1		1	3	38
申立手順・費用	1			1	9	2				2			1	16
報酬費		29						6				2	1	38
候補者紹介	2	18		16	6	1		3		3			4	53
法定後見												1		1
任意後見	14	3	1	2	5			1	1					27
相続・遺産分割														0
親族関係														0
福祉制度		1												1
後見人業務		6						1				5	1	13
苦情		2		1				1						4
その他	2	13	1	1		1		1		1			1	21
不明														0
合計	20	95	3	24	22	5	0	14	2	7		9	11	212

ばあとなあ神奈川 電話相談件数(月別集計25年4月から26年3月末)														
相談者の地域	親族等			関係機関等							ばあとなあ 部員	その他 不明等	合計	
	本人	親族	知人	行政	包括・ ケアマネ	障害 相談支援	社協	病院	高齢 施設	障害 施設				
横浜	6	25	2	13	5	1		3				1		56
川崎	3	9		5	5			5	1				2	30
相模原	1	2			4			1				1		9
横須賀・三浦		5			2		2							9
湘南東	1	6		1	3			1					1	13
県央	3	11		1	1			2		3				21
湘南西	1	6			1	1				2			2	13
県西	1	2		2				1		2			1	9
県内														0
県外	1	9			1							1	2	14
不明	3	20	2	1	1			1	1			6	3	38
合計	20	95	4	23	23	4	0	14	2	7		9	11	212

②法人後見

報酬付与の申立については、計6件の申立を行った。

法人後見業務執行者の連絡会は9月28日に開催した。

本会の公益社団法人化に伴い、法人後見は、公益事業に編成され、次のような役割と業務手続の再検討が必要となった。

- ・現行の業務執行者の実務について、公益法人の事務の透明化をすすめていくこと。
- ・公益法人の事業として法人後見を実施する上で、支援する対象者や要件等の整理をしていくこと。
- ・その他、業務執行者の活動を支援し、新たな活動の担い手の育成をすすめていくこと。

	後見	保佐	補助	合計
認知症	1	0	0	1
知的障害	5	3	2	10
精神障害	0	0	0	0
合計	6	3	2	11

③成年後見地域啓発事業

- ・事業名：成年後見セミナー「講談で学ぼう！成年後見制度」 講師：講談師 神田織音氏
- ・開催日時：平成25年12月15日（日） 13:30～16:30
- ・場所：川崎市立養護学校 体育館
- ・対象：一般県民
- ・参加者 70名

④成年後見活用講座

- ・開催日時：【1日目】2013年11月30日（土） 9:45～16:30 参加者数：35名
【2日目】2013年12月1日（日） 10:00～16:30 参加者数：34名
- ・講師：司法書士 船木美香氏 社会福祉士 田中晃氏、鈴木雅人氏、雨宮徹氏、
- ・場所：神奈川県社会福祉会館
- ・内 容：【1日目】成年後見制度の概要と後見人の職務（制度の理解・後見人の役割と連携）
【2日目】後見制度を利用するための手続き（申立の流れなど）

(2)成年後見人（ばあとなあ）養成・現任研修

①成年後見人養成研修と登録状況

(社)日本社会福祉士会主催による成年後見人養成研修（委託集合研修）を実施した。

成年後見人養成研修（委託集合研修）

- ・日程：2013年6月22日（土）8月24日（土）、9月21日（土）、10月19日（土）、11月16日（土）、11月23日（土）
（全6日間37時間）
- ・主な内容：日本社会福祉士会カリキュラムに準ずる。成年後見制度及び関連法・身上監護・財産管理・精神医学の各概論・演習、成年後見人実務演習等。ばあとなあ神奈川では、後見人としての倫理やばあとなあ部員として必要な知識をみにつける事を目的として、ばあとなあ神奈川独自の研修日を一日増やしている。
- ・講 師：ばあとなあ神奈川部員、家庭裁判所担当者、弁護士、司法書士、精神科医等
- ・運営方法：運営委員会の養成部門を中心に運営・実施

名簿登録状況：

2013年度支部委託研修	受講生	修了生	登録者
	38名	31名	29名

②ばあとなあ神奈川部員全体会の開催

【第1回】

開催日時：2013年6月1日（土）13:30～16:30・参加者数 70名

パネルディスカッション：『専門職後見人の活動の視点』

パネリスト：弁護士内嶋順一氏、司法書士岩屋口智栄氏、行政書士井出順氏、社会福祉士佐々美弥子氏

コーディネーター：ばあとなあ神奈川 田中晃氏
 全体会テーマ：2012年度ばあとなあ神奈川活動報告
 2013年度の重点課題について

【第2回】

開催日時：2014年3月8日（土）13：30～16：30・参加者数 102名
 全体会テーマ：ばあとなあ神奈川に関する改正規則類の説明
 2014年度事業方針・事業計画について
 意見交換会

③成年後見人名簿登録者向け研修等

25年度は、公益法人化に伴い、一般県民を対象とした公開講座を開催した。また、「初めての受任」は地区で同じ内容で開催することを目的として、地区部門と協力して2回目は湘南西地区、3回目は相模原地区に向いて開催した。

ア【その時に慌てないように死後の事務を学びましょう】

- ・開催日時：2013年5月19日（日）午後 参加人数 85名
- ・講師：岩屋口 智栄 氏（司法書士 ともえ事務所代表）
- ・対象：ばあとなあ神奈川名簿登録者
- ・内容：①成年後見人等が求められる手続きとは
 ②成年後見人ができること、できないこと

イ【公開講座 二十歳になったら成年後見人】

- ・開催日時：2013年9月14日（土）午後 参加人数 77名
- ・講師：小嶋 珠美 氏（公益法人あい権利擁護ネット理事）
 当事者、ばあとなあ部員
- ・対象：神奈川県社会福祉士会会員等、一般向け
- ・内容：知的障害者の生活と後見活動の理解を深める
 ①総合支援法の理解
 ②当事者との座談会
 ③事例報告

ウ【成年後見人等が知っておきたい生活保護制度】

- ・開催日時：2014年3月8日（土）午後 ・参加者数 61名
- ・講師：菊池 健志 氏（神奈川県庁地域保健福祉部生活援護課 主幹
 実践ソーシャルワーク塾 塾長 ）
- ・対象：ばあとなあ神奈川部員
- ・内容：法改正と生活保護の基本的な知識を学ぶ

エ【初めての受任】

- ・開催日時：①2013年6月15日（土）38名 ②2014年1月18日（土）14名
 ③2014年2月16日（日）18名
- ・講師：研修部門及び地区部門担当運営委員
- ・対象：①2012年及び2013年養成研修修了者②未受講者等
- ・内容：①受任までの流れ②受任直後の事務③成年後見人等の役割の伝え方
 ④一年間の後見事務報告あたって

(3) 成年後見人等推薦状況、委員会活動等

①成年後見人等の候補者推薦と受任状況

- ・家庭裁判所への後見人候補者名簿の提出 2014年3月末 現在：428名（内県外支部8名）
- ・本年度法定後見受任状況 受任中累計 743件

	照会件数	【内訳】 現在活動数	閉止	不受理	審判待ち、調整中、申立予定等
2013年度のみ	217	84	24	9	100
本年度末累計件数	1,485	743	503	107	132

ア 類型および障害別・依頼元別受任状況 (2013 年度) (217 件)

後見類型	後見	保佐	補助	合計	家庭裁判所	32	市町村	111
障害別					【内訳】本庁	10	相談機関	52
認知症	109	20	7	136	川崎支部	10	ばあとなあ相談	3
知的障害	40	10	2	52	横須賀支部	2	親族	9
精神障害	14	14	0	28	相模原支部	3	その他	10
その他	1	0	0	1	小田原支部	7	合計	217
合計	164	44	9	217	東京家裁	0		

イ 申立人別照会状況(2013 年度) (217 件)

本人	親族	後見人	行政 111				その他 家裁職権、他仕業	合計
			市長	区長	町長	村長		
17	77	11	55	45	11	0	1	217

【市町村長申立内訳】(カッコ内が件数)

横浜市(区長 45)、川崎市(27)、横須賀市(2)、平塚市(2)、藤沢市(2)、小田原市(6)、茅ヶ崎市(2)、逗子市(2)、相模原市(2)、秦野市(1)、厚木市(3)、大和市(3)、綾瀬市(2)、寒川町(1)、開成町(5)、大井町(1)、山北町(2)、箱根町(2)、東京都川口市(1)

②後見人等候補者及び受任者への支援活動

- ・定期報告(2月、8月)を受け、後見活動の課題の早期発見と対応を行った。
- ・部員同士の顔の見える関係づくりを目標に、地区ばあとなあ活動の支援を行った。
- ・受任者への相談・スーパーバイズとして、電話や面接により対応した。
- ・部員の資質向上のため、初任者研修・現任者研修を体系的に企画実施した。

③地区ばあとなあの活動

地区ばあとなあ活動は県内 11 地区で構成され、成年後見人等候補者推薦や、地区連絡会による部員の交流や情報提供、研修会や他士会との事例検討会など、部員の顔の見える関係作りや地区でのスキルアップを目的におこなってきた。

また、3か月に1回おこなわれる、地区コーディネーター連絡会により、各地区の状況や取り組みの共有をおこない地区活動の活性化を図るとともに、更新制度における地区(地域)でおこなう研修の検討や地区の集まりのあり方など、26年度検討することについての共有を行った。

【2013 年度地区コーディネーター】

横浜北	内山信隆	横浜中	井上康子	横浜西	新津眞二
横浜南	榎原みさ子	川崎	武笠太朗	川崎	坂本好和
横・三	赤木道弘	湘南東	長谷川栄子	湘南西	池永康子
県央	鈴木真理子	相模原	渡邊幸江	西湘	和田明子

④運営委員会活動等

運営委員会は毎月第2木曜日に開催した。

1. 運営委員会の開催状況

ア 開催数：12回

イ 主な内容

- ・事業方針、予算、事業計画等の協議・候補者推薦依頼案件の審議

- ・各部門の取組の共有、課題の検討 ・他機関への講師等派遣の検討
- ・クレームに対する対応 ・ぱあとなあ神奈川の事業に関する規則・基準等について

2. 部門会議（随時開催）

- ①総務・法人後見部門 ②相談部門 ③研修部門 ④養成部門 ⑤地区部門

⑤他機関主催研修会・相談会等への講師派遣

・かながわ権利擁護相談センターアドバイザースタッフの派遣

本年度4件派遣依頼があり、ケース検討等の場面に社会福祉士を派遣した。

茅ヶ崎市（1回）、平塚市（1回）、横須賀市（2回）

・他機関法人後見事業関連会議

内容	主催	派遣者〈敬称略〉
法人後見事業審査会	南足柄市社会福祉協議会	日向野泰裕
法人後見事業審査会	綾瀬市社会福祉協議会	鈴木真理子
法人後見事業審査会	海老名市社会福祉協議会	安村壽太郎
法人後見事業立ち上げ準備検討会	寒川町社会福祉協議会	内藤美幸

・市民後見人養成関係・研修〈敬称略〉

内容	主催	派遣者〈敬称略〉
川崎市市民後見人養成研修	川崎市社会福祉協議会	武笠太朗
よこすか市民後見人・専門職との情報交換会	横須賀市社会福祉協議会	佐々美弥子
市民後見人育成研修	厚木市社会福祉協議会	田中晃 鈴木真理子 那須三朗

・その他研修会・相談会等〈敬称略〉

内容	主催	開催日	派遣者〈敬称略〉
ふじさわあんしんセンター 出張成年後見制度無料相談会	藤沢市社会福祉協議会	年1回	小野田潤 長谷川栄子
ふじさわあんしんセンター 成年後見専門相談	藤沢市社会福祉協議会	年3回	長谷川栄子
成年後見制度研修 ～親族後見人向け（基礎編）	川崎市社会福祉協議会	7月27日	坂本好和
親族後見人のための講習会と相談会 （鎌倉会場）	かながわ成年後見推進センター	9月28日	石井美智子
親族後見人のための講習会と相談会 （秦野会場）	かながわ成年後見推進センター	11月2日	中丸一郎
親族後見人のための講習会と相談会 （大和会場）	かながわ成年後見推進センター	12月7日	鈴木真理子
成年後見制度個別相談会	厚木市	10月21日	安村壽太郎
成年後見制度市民公開講座	相模原市	9月14日	小泉昇
成年後見制度普及啓発シンポジウム	川崎市社会福祉協議会	3月8日	大埜嵩
成年後見制度相談会	川崎市社会福祉協議会	3月8日	大埜嵩

・横浜市成年後見サポートネット（横浜市内各区）

各区の成年後見に関する事例検討会に、社会福祉士延べ16名が弁護士会・司法書士会等と共に出席し助

言等に当たった。

〈敬称略〉

鶴見区	古橋良伸	神奈川区	高島さち子	西 区	佐々美弥子
中 区	井上康子	南 区	鈴木雅人	港南区	荒井 薫
保土ヶ谷区	熊谷美江子	旭 区	三山浩子	磯子区	佐々美弥子
金沢区	佐々美弥子	港 北 区	内山信隆	緑 区	須田幸隆
青葉区	西田ちゆき	都 築 区	吉田千代	戸塚区	榎原みさ子
栄 区	小野真由美	泉 区	篠崎美代子	瀬谷区	土谷勉

⑥他団体・市町村との連携

・連絡会・検討委員会

〈敬称略〉

内容	主催	開催回数	派遣者〈敬称略〉
成年後見制度関係機関連絡会	かながわ成年後見推進センター	2回	佐々美弥子
成年後見制度関係機関連絡会	横浜市	1回	佐々美弥子 田村左千男
成年後見制度連絡会	川崎市	3回	雨宮徹 武笠太朗 大埜嵩 坂本好和
成年後見制度に関する情報交換会	相模原市	1回	志方洋一 二宮淳
藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会	藤沢市社会福祉協議会	3回	小野田潤
茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク連絡協議会	茅ヶ崎市	6回	小野田潤 長谷川栄子
成年後見受任関係団体情報交換会	三浦市社会福祉協議会	2回	佐々木美保子

・市民後見人養成関係会議

内容	主催	派遣者〈敬称略〉
横浜市市民後見推進委員会	横浜市社会福祉協議会	佐々美弥子
綾瀬市市民後見人養成事業あり方検討会	綾瀬市	鈴木真理子
成年後見利用支援センター設置懇話会	平塚市	古畑英雄
市民後見人養成のあり方検討会	神奈川県社会福祉協議会	田中晃
よこすか市民後見人等運営事業会議	横須賀市社会福祉協議会	佐々木美保子

⑦成年後見活動の適正な執行

<目的>

ばあとなあ神奈川の会員が受任している成年後見人及び監督人としての業務内容の監督、及び本会が受任している法人後見人としての業務内容の監査を実施する目的で、外部委員6名と本会員1名の計7名で構成される成年後見業務監督委員会を設置している。

(1) 業務監督委員会の開催

① 第1回 (11月11日開催)

正副委員長を選出。①今期の運営方針及び実施状況についての報告。②後見活動定期報告書(2013年2月)について報告。③法人後見についての状況報告。その他、意見交換が行われた。

12. 支部活動支援事業

県士会は8つの支部で構成されています。各支部とも定期的な役員会やばあとなあ地区ブロック情報交換会、研修会や市民向け啓発活動等活発な事業を展開しています。

①横浜支部(支部長：徳田 千春)

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2013年4月28日 会場：西区福祉保健活動拠点

・講演

「公益社団法人としての社会福祉士とは」

講師 山下 康氏

・2012年度 コミュニティソーシャルワーク実践講座 発表会

「地域で見た・聴いた・考えた！中学生の居場所作りに関する新たな視点」

発表者 西部文理大学 西川 ハンナ氏

コミュニティソーシャルワーク実践講座 受講者の皆さん

②支部幹事会 開催 計12回 開催月 毎月

③研修会・定例会等 開催 計7回 開催月 6月、8月、11月、12月、1月、2月、3月

○月別事業報告

4月	・15日(月)幹事会 ・28日(日)全体会	10月	・7日(月)幹事会
5月	・27日(月)幹事会 ・18日(土)バーベキュー大会 (交流企画 野島公園にて)	11月	・11日(月)幹事会 ・9日(日)研修会「たまひよ研修」 (地域生活定着支援センター 中西氏)
6月	・3日(月)幹事会 ・7日(金)研修会「成年後見制度の基礎」 (鈴木雅人氏)	12月	・2日(月)幹事会 ・2日(月)「たまひよ研修」横浜刑務所見学 ・5日(木)研修会 「先輩社会福祉士に聞く」(小倉明子氏)
7月	・1日(月)幹事会 ・11日(木)関東学院大学 講師派遣	1月	・6日(月)幹事会 ・11日(土)研修会 「コミュニティソーシャルワーク実践講座」西川ハンナ氏
8月	・5日(月)幹事会 ・2日(金)研修会 「先輩社会福祉士に聞く」(星 勉氏)	2月	・3日(月)幹事会 ・16日(土)研修会 「コミュニティソーシャルワーク実践講座」西川ハンナ氏 ・21日(金)研修会「たまひよ研修」 (下宿屋 牧野賢一氏)
9月	・2日(金)幹事会	3月	・3日(月)幹事会 ・15日(土)、22日(土) 「コミュニティソーシャルワーク実践講座」西川ハンナ氏

②川崎支部(支部長：平山みちる)

○本年度実施の事業概要

1. 法改正などの福祉の動向を把握し、学習を行う
2. 互いの職種や職域を通して学びあう
3. 主として市内の社会資源について見学等により理解を深める
4. 種々の工夫を行って加入推進に努める
5. 会員間の交流の場をつくり業務や学びの一助とする

○会議等の開催状況・月別状況

①支部全体会 開催 2013年5月18日 20名参加 会場：てくのかわさき

講師 井上一郎氏

テーマ「アルコール依存症の理解とその支援」 井上一郎氏

②支部役員会 開催 計4回 開催月 4月、7月、10月、1月

③研修会・定例会 定例会 開催 計3回 開催月 9月、1月、2月

ばあとなあ 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月

④会員への呼びかけ実績 人数 320人 回数 4回 呼びかけ月 6月、9月、12月、3月

○月別事業報告

4月		10月	
4月			
5月	役員会 総会・研修会 ばあとなあ活動者の集い	11月	役員会 ばあとなあ活動者の集い 田園調布学園の大学祭ブース出展
6月		12月	役員会 成年後見市民啓発事業
7月	役員会 ばあとなあ活動者の集い 例会「障害者総合支援法で何が変わったか」別府政行氏	1月	役員会 例会「先輩社会福祉士に聞く」船井幸子氏 ばあとなあ活動者の集い
8月		2月	役員会 例会「神奈川医療少年院見学」
9月	役員会 ばあとなあ活動者の集い 例会「先輩社会福祉士に聞く」武笠太郎氏	3月	ばあとなあ活動者の集い

③横須賀三浦支部（支部長：齊藤学）

○本年度実施の事業概要

1. 以下のテーマ等によって定例会等を開催／年度テーマ）「社会福祉実践を通して専門性を高めよう」（キーワード）○社会福祉実践、○気付き、○専門性。

基本指針：1）ソーシャルワーク専門職の技術の向上を目指す。2）ソーシャルワークの専門職として積極的に地域に貢献する。3）保健・医療・福祉の専門職との連携、協働を推進していく。4）会員間の交流を深め、組織の充実を図る。

2. 支部総会

3. 車座集会

4. ソーシャルワーク研修会

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2012年5月19日 23名参加 会場：横須賀市生涯学習センター
テーマ「日本の貧困を考える」

②支部役員会・定例会 開催 計9回 開催月 4月、5月、6月、7月、9月、11月、1月、
2月、3月

③会員への呼びかけ実績 開催 計6回 呼びかけ月 4月、5月、7月、11月、1月、2月

4月	支部役員会	9月	支部役員会
5月	支部総会及び講演会 記念講演：「日本の貧困を考える」講師： 県立保健福祉大講師：岩永理恵氏、参加： 23名	11月	支部役員会 定例会：「地域福祉へのとりくみ」～地域に おける社会福祉士の実践を考える～講師：県立 保健福祉大 教授・臼井正樹氏
6月	支部役員会 ふれあいフェスティバル参加	1月	定例会・車座集会）「東日本大震災避難者支援 を考える」講師：避難者見守り隊管理者 吉 田綾子氏 参加15名

7月	定例会：【公益】【公開】 内容：横須賀キリスト教社会館の地域福祉活動」講師：横須賀キリスト教社会館：岸川洋治館長 参加 15 名	2月	支部役員会 定例会：【公益】県精神保健福祉士会やんちゃ会 合同企画／「障害者就労支援」講師：就労移行支援事業所ペガサス職員の方々参加 18 名
8月	先輩社会福祉士に聞く：齊藤学氏 参加 7 名	3月	

④湘南東支部（支部長：小野田潤）

○本年度実施の事業概要

1. 支部総会
2. 研修会・施設見学会・公開講座・相談会参加・ぱあとなあ地区ブロック情報交換会
3. 支部会員定例会
4. 広報活動
5. 隣接士業との連携

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2013年4月27日 26名参加 会場：藤沢市労働会館
講師 山下 康氏
テーマ「公益法人による地域での社会福祉士の役割り」
- ②支部役員定例会 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月
- ③研修会等 研修他 開催 計6回 開催月 8月、9月、10月、1月
ぱあとなあ 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月
- ④会員への呼びかけ実績 開催 計6回

○月別事業報告

4月 4月	支部総会・記念講演	10月	六士業合同無料相談会 相談員派遣 寒川町ふれあいフェスティバル参加 見守り隊活動協
5月	支部会員定例会 ぱあとなあ情報交換会	11月	支部会員定例会 ぱあとなあ情報交換会
7月	支部会員定例会 ぱあとなあ情報交換会	1月	支部会員定例会 公開講座「ライフイベントから考える～エンディングノートで安心生活」 講師：井上 康子氏 参加者 43 名 ぱあとなあ情報交換会
8月	施設見学会（児童養護施設「聖園子供の家」乳児院「聖園ベビーホーム」 参加者 24 名	2月	
9月	参加者：29 名 支部会員定例会 新人研修「先輩社会福祉士に聞く」 講師：田中幸治氏 参加者：16 名 講師：古舘昌幸氏 参加者：15 名 ぱあとなあ情報交換会	3月	支部会員定例会

⑤湘南西支部（支部長：伊藤 倫博）

○本年度実施の事業概要

1. 会員の資質向上
2. 市民向け講座の開催

3. 組織基盤の確立及び会員拡大

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2013年5月18日 25名参加 会場：ひらつか市民活動センター
講師：寿支援者交流会事務局長 高澤幸男氏
テーマ：「生活困窮者を生み出す背景とは何か」

②研修会・定例会等 開催 計9回 開催月 4月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、1月
3月

③会員への呼びかけ実績 人数 約40～60人 回数：4回 呼びかけ月 5月、8月、12月、2月

○月別事業報告

4月	定例会 総会準備（印刷・発送作業）	10月	定例会
5月	全体会 市民公開講座	11月	二宮町社会福祉大会 定例会
6月	定例会 平塚市男女共同参画パネル展示	12月	なるほど講座「より良い福祉サービスを利用するために」 東北きずなサロン in はだの 先輩社会福祉士に聞く
7月	定例会 東北きずなサロン in はだの	1月	定例会
8月	定例会 施設見学会 秦野市障害者権利擁護センター「ライツはだの」	2月	施設見学会 ケアハウス「サンステージ湘南」
9月	定例会 先輩社会福祉士に聞く ひらつか市民活動センターまつり	3月	定例会

⑥県央支部(支部長：山本容子)

○本年度実施の事業概要

1. 会員の交流（連帯感の熟成）
2. 会員の研鑽（専門性の向上）
3. 地域へ顔の見える社会福祉士の実現

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2013年5月18日 36名参加 会場：海老名市文化会館
講師 中西 一郎氏
テーマ「神奈川県地域定着支援センターの活動について」

②支部役員会 開催 計10回

③研修会・定例会等 開催 計12回 開催月 毎月

○月別事業報告

4月	定例会	10月	定例会 避難者支援交流会 海老名市相談会
5月	定例会 全体会・講演会・交流会 座間相談会	11月	定例会 研修会 座間相談会・海老名市相談会
6月	定例会	12月	定例会 避難者支援交流会 一日施設見学会 海老名市相談会
7月	定例会	1月	定例会

	座間相談会・海老名市相談会		座間相談会・海老名市相談会
8月	定例会 避難者支援交流会 海老名市相談会	2月	定例会 海老名市相談会 横浜刑務所見学会
9月	定例会 愛川町ふれあい広場 座間相談会・海老名市相談会	3月	定例会 市民向け講座 親睦会 座間相談会・海老名市相談会

⑦相模原支部（支部長：小針淳一）

○本年度実施の事業概要

1. 研修事業の実施
2. 幹事会（定例会）の開催
3. 成年後見人等受任者情報交換会の実施
4. 成年後見制度市民公開講座への協力
5. 相模原市介護認定審査会、障害程度区分審査会への審査委員の推薦

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2013年4月13日 23名参加 会場：相模原教育会館
講師 渡辺智興 氏（相模原市発達障害支援センター）
テーマ 「相模原市発達障害支援センターの取り組み」
- ②支部役員会・定例会 開催 計9回 開催月 1・2・3月を除く毎月
- ③会員への呼びかけ実績 回数1回 呼びか月 4月
- ④相模原市をはじめ、弁護士会、司法書士会、行政書士会、税理士会、社会福祉協議会と共に成年後見制度市民公開講座へ参加・協力
- ⑤相模原市介護認定審査会への会員推薦 11名
相模原市障害区分審査会への会員推薦 6名
相模原市社会福祉協議会 一般会員への加入

○月別事業報告

4月	全体会 成年後見人等受任者情報交換会	10月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会
5月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	11月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 施設見学会「はやぶさ学園」
6月	定例会 公開セミナー 「当事者の声～認知症を患うということ～」 / NPO 町田つながりの開 理事長 前田隆行 氏 他 成年後見人等受任者情報交換会	12月	定例会 先輩社会福祉士に聞く講師：井戸和宏 氏 成年後見人等受任者情報交換会
7月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	1月	
8月	定例会 先輩社会福祉士に聞く 講師：小林麻衣子 氏 成年後見人等受任者情報交換会	2月	成年後見人等受任者情報交換会
9月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	3月	避難者支援活動「どんぐりの会」 成年後見人等受任者情報交換会

⑧西湘支部 (支部長：工藤 寛子)

○本年度実施の事業概要

1. 定期的な学習研究活動の実施
2. 支部活動への会員の参加促進
3. 市民向け啓発、協力
4. 県士会との連携強化

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2013年5月11日 38名参加 会場：小田原市社会福祉センター
2013年11月5日 15名参加 会場：南足柄市女性センター
- ②支部幹事会 開催 計10回 開催月5月、6月、8月(2回)、9月、12月、2月、3月
- ③準備会 開催 計2回 開催月 4月、10月(全体会準備)、1月(車座集会準備)
- ④研修会・定例会等 開催 計7回 開催 各事業前に各担当にて開催
- 会員への呼びかけ実績 150名 回数 5回 呼びかけ月 5月、9月、10月、11月、12月
研修会(3回)・車座集会・全体会について呼びかけ

○月別事業報告

4月	臨時幹事会①	10月	幹事会 研修②
5月	全体会① 幹事会	11月	研修③ 全体会②
6月	幹事会 研修担当者会議 会報誌「ブナの樹」発刊	12月	幹事会 会報誌「ブナの樹」発刊 ゆる☆つなサロン
7月		1月	車座集会
8月	幹事会 女子会 ゆる☆つなサロン	2月	幹事会 女子会
9月	研修① 臨時幹事会②	3月	幹事会

Ⅲ. 生涯研修センター

新生涯研修制度における基礎課程の整備の一環として、基礎研修Ⅰからさらなるステップアップを目指した基礎研修Ⅱを開講した。10日間の座学プログラムに加え、レポート課題等に取り組むスケジュール的にタイトな研修であったにもかかわらず、60名強の方が修了されたことは、社会福祉士としての向上心の高さと認定社会福祉士への関心のあらわれであったと考えられる。

また、認定社会福祉士制度や体系化された研修を会員に提供していくことを目的に立ち上げた生涯研修センターの周知に努め、さまざまな分野で活動する社会福祉士にとって必要な能力を身につけるための研修を企画した。基礎研修の運営に尽力したこともあり、例年に比べ生涯研修センターとして企画した研修は、内容を厳選したものになったが、毎年開催している倫理綱領、共通基盤研修、実践発表大会に加え、新たに未成年後見をテーマにした学習会等の研修会を開催した。

次年度は、新たに基礎研修Ⅲを開講し、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度のさらなる周知に努めていく。さらに、日本社会福祉士会が準備を進めているスーパービジョン体制の構築や認定社会福祉士制度の研修認証に向けた体制の整備に努めていく。

〈主な活動内容〉

- ・年間を通して、下記の研修を企画・運営した。
- ・研修の企画・運営のため研修委員会を開催した。

研修委員会：4月28日・6月30日・9月8日・2月23日開催

- ・さまざまな分野で活動する社会福祉士に必要な共通基盤 6 領域について研修を開催する準備を行った。
共通基盤研修実行委員会：4月21日開催
- ・未成年後見制度について学び、社会福祉士としてできることについて検討する機会をもった。
未成年後見プロジェクト：5月28日・7月31日開催

<研修内容>

研修名・会場	日程・参加者	内容・講師
社会福祉の専門職とは何か。「社会福祉士の倫理綱領、行動規範を通して考える」 (ウィリング横浜)	11月9日(土) 参加者:22名	日本社会福祉士会が2005年度に採択した「社会福祉士の倫理綱領」及び「社会福祉士の行動規範」を用いた研修を企画・実施した。受講者には事前課題提出の上、当日はその内容をもとにグループワークを行った。グループワークには実践ソーシャルワーク塾にファシリテーター協力要請し、受講者の学習理解を深める工夫を行った。 講師:菊池健志氏(神奈川県保健福祉局)
基礎研修Ⅰ (ウィリング横浜)	集合研修Ⅰ 7月28日(日) 11月16日(土) 集合研修Ⅱ 12月1日(日) 3月2日(日) 受講申込者143名 研修修了者119名	日本社会福祉士会からの委託研修として開催 <事前課題> 「社会福祉士として大切にしたいこと」 「研修に対するの期待」 <集合研修1> 社会福祉士のあゆみ 日本社会福祉士会・神奈川県社会福祉士会の組織 生涯研修制度について 社会福祉士としての専門性について考える <中間課題> 社会福祉士共通基盤の理解 倫理綱領・行動規範の理解 所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ 他領域のソーシャルワーク実践について学ぶ <集合研修2> 社会福祉士共通基盤の理解 倫理綱領・行動規範の理解 社会福祉士の倫理綱領の適用 研修リーダー:坂口律江氏、柳田かおり氏 協力:実践ソーシャルワーク塾 神奈川県社会福祉士会会長、事務局長、支部長他
基礎研修Ⅱ(ウィリング横浜・県社会福祉会館・横浜市消費生活センター・T's パシフィック・かながわ労働プラザほか)	Aコース、Bコースに分かれ、5月～3月の間にそれぞれ10日間開催 受講申込者79名 研修修了者62名	日本社会福祉士会からの委託研修として開催 <事前課題><中間課題><科目修了レポート> <集合研修1・2・3> <集合研修DVD+グループ討議>7回 研修リーダー:鈴木剛氏、中島礼子氏、佐々美弥子氏 原田直美氏 協力:実践ソーシャルワーク塾 サポーターズスーパービジョン研究会
未成年後見制度について(県民センター)	7月13日(土) 参加者52名	児童虐待から子どもを守るために ～未成年後見制度が果たす役割を考える～ 講師:新横浜法律事務所 弁護士 高橋温氏
未成年後見制度について(県社会福祉会館)	9月4日(水) 参加者8名	未成年後見プロジェクト学習会 ～未成年後見制度の現状と課題～ 講師:新横浜法律事務所 弁護士 高橋温氏

未成年後見制度について (県社会福祉会館)	10月23日(水) 参加者 7名	未成年後見プロジェクト学習会 児童養護施設で育つ子供の権利擁護 ～未成年後見を考える～ 講師：鎌倉児童ホーム 秦晴彦氏
共通基盤研修 (ウィリング横浜)	10月5日(土) 参加者 22名 12月1日(日) 参加者 23名	「社会福祉士がとらえる権利擁護」 講師：高山 直樹氏(東洋大学社会学部社会福祉学科教授) 「社会福祉士がとらえる生活構造」 講師：萬歳 芙美子氏(ルーテル学院大学包括的臨床死生学研究所研究員) 「社会福祉士がとらえる福祉経営」 講師：東海林 崇氏(浜銀総合研究所) 「社会福祉士がとらえる相談援助」 講師：西川 ハンナ氏(西武文理大学サービス経営学部健康福祉マネジメント学科准教授) 「社会福祉士がとらえる地域支援」 講師：宮脇 文恵氏(特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所研究員) 「社会福祉士がとらえる実践研究」 講師：竹之内 章代氏(東海大学康科学部社会福祉学科専任講師)
実践発表大会 (ウィリング横浜)	2月22日(土) 参加者： 29名	基調講演：「いま、私たちにできること」 講師：神奈川県社会福祉士会副会長 小島操子氏 <演題発表> 「北欧から学ぶ福祉と経済の要」 「支援者との関係構築が困難な相談者とのラポール形成」 「地域包括ケアシステム推進に向けての取り組み」 「ユニットケアにおけるソーシャルワークの取り組み」 「社会福祉士後見人に求められる意志決定支援」 「東日本大震災神奈川県内支援」

役員・職員体制

会 長 山下康

副 会 長 小島操子、吉田勝利、山崎智美

理 事 佐藤雅美、内藤美幸、西山元弘、平岡祐二、山影彰大、菅野善也、尾形淳子、栗林正彦、
中西一郎、石橋正道、昆拓也、瀬戸知樹

監 事 齊藤学、江原伸弘

<職員状況 2014年3月末現在>

<事務局>事務局長：菅野美和子、常勤職員：鷲見美貴子、権利擁護事業専門員：吉田綾
非常勤職員：金子愛、石井美智子、茂呂さやか

※神奈川県受託事業

<神奈川県地域生活定着支援センター>

センター長：中西一郎、常勤職員・主任相談員：中山強、常勤職員・相談員：小森幸恵
非常勤職員・相談員：岡部眞貴子、木川善子、渡邊啓二、非常勤職員・事務：杉山弓月

<生活困窮者支援事業 @HOUSE やどりぎ>

常勤職員・主任相談員：降旗聡

非常勤職員・相談員：石黒美津枝、佐藤一帥、畠山輝太郎

<東日本大震災避難者支援専門サポート事業>

常勤職員・業務責任者：吉田由紀、

非常勤職員・専門相談員：吉田綾子、清水愛子、武山美子、高柳泉、小柳球美、井上康子、
八森淳、大友路子、石井美智子

<生活保護社会的居場所づくりモデル事業>

常勤職員・自立支援相談員：露木敏夫

非常勤職員・自立支援相談員：牧野正子、木暮恒夫、加藤久枝

※相模原市受託事業

<ホームレス等一時生活支援事業 @HOUSE はばたき>

常勤職員・自立支援相談員：池田恵子

非常勤職員・自立支援相談員：林敬之、織田宏、上村荘平、畠山輝太郎